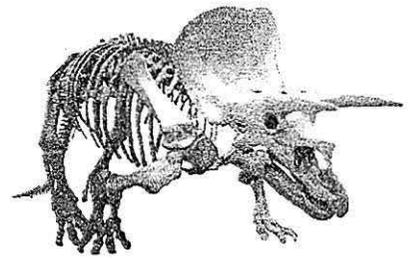


## 過去の世界へタイムスリップ！ 科学博物館特別展「タイムトラベル化石ツアー」

この夏、世界各地から発見された化石が科学博物館にやってきます！  
一足早く、この特別展で展示される化石を、いくつかご紹介しましょう。

### 恐竜「トリケラトプス」(富山初公開！)

特別展会場の真ん中には、およそ7000万年前に生きていたトリケラトプスの骨格標本こっかくひょうほん（レプリカ）を展示します。レプリカといえども、このような全身骨格ぜんしんこっかくを観察できる機会はとても貴重です。トリケラトプスは額に2本、鼻先に1本、あわせて3本の角と、えりかざりをもつ大きな頭どくちようが特徴です。6メートル以上もあるこの標本をみて、その大きさを実感してください！



トリケラトプス

### 恐竜時代の海に生きていたアンモナイト

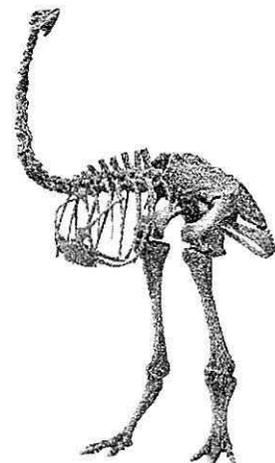


アンモナイト

アンモナイトは主に中生代の海でほんえい繁栄した頭足類どうそくるい（イカ・タコのなかま）で、1万種以上の化石が発見されています。グルグルと巻いた殻からをもつアンモナイト化石のほかにも、変わった形の殻をもつアンモナイト、宝石のように鮮やかな赤色や緑色をした殻からをもつアンモナイト化石も展示します。

この他にも、角とげや棘きみょうのある奇妙な姿をした「三葉虫」、史上最大の鳥ともいわれる「エピオルニス」の骨格標本（レプリカ）、そして私たちの住む富山で発見された化石も数多く展示します。世界から、そして富山から発見された化石が大集合する特別展「タイムトラベル化石ツアー」を、ぜひ見に来てくださいね！

(2008年7月 田中 豊)



エピオルニス